

2006年度 東北大学前期試験 英語解答・解説および配点予想

ここでは英語の満点を200点満点で考えています。学部学科によっては満点異なる場合がありますが、採点基準は共通であると考えられます。

【解答】

問1

- (A) DNAの構造や、それが世代から世代へと複製される過程についての発見によって、生命そのものや進化は、分子レベルでは単純なものに思えるようになった。
- (B) 宇宙の最も複雑な特色、それは、伝統的な科学研究の方法に対して、最も従うまいとするものであるとわかってきたものなのだが、それが我々のレベルで存在しているといったことは全く驚くにあたらない。

問2

多くの原子が複雑で興味深い方法で結び付いた場合は、複雑で興味深いものが生み出され、結果、人間といったものを作り上げたりする、といった過程。

問3

(ア)	(イ)	(ウ)
c	b	c

問4

much	so	than

【配点予想】

大問計 60点

問1 (A) 10点

the discovery of the structure of DNA まで2点

and the way in which it is copied from generation to generation まで2点

life itself, and evolution まで3点

at the molecular level まで3点

(B) 10 点

It is no surprise that まで 2 点
the most complex features of the Universe まで 2 点
which proved most reluctant to yield to まで 2 点
the traditional methods of scientific investigation まで 2 点
should exist on our scale まで 2 点

問 2 (C) 10 点

that complicated and interesting things are produced まで 2 点
when many atoms are linked together まで 2 点
in complicated and interesting ways まで 2 点
to make things like people まで 2 点
全体をまとめ上げる表現プラス 2 点

問 3 15 点 (各 5 点)

問 4 15 点 (各 5 点)

【解答】

問 1

(A)	(B)
(2)	(4)

問 2

顔を言葉で表現する際、脳の中の視覚的記憶が置き換えられ、思考が右脳から左脳へ押しやられてしまうこと。

問 3

(D) 2 度目にあなたが容疑者の列 / 列に並んでいる人たちを見せられた時に、あなたが表現

するもとなっていたものは、そのウェイトレスの姿についてあなたが語ったことの記憶であり、その姿についてあなたが見たことについての記憶ではない。

(E) あなたは、医者は常に男であるといった無意識的な前提 / 思い込みから飛躍する必要がある。もちろん、彼らはいつも男であるとは限らないのである。

問 4

mother

【配点予想】

大問計 50 点

問 1 計 10 点 (各 5 点)

問 2 10 点

what happened when you described the face in words まで 3 点

was that your actual visual memory was displaced まで 3 点

Your thinking was bumped from the right to the left hemisphere まで 4 点

問 3 (D) 15 点

When you were faced with まで 2 点

the lineup the second time around まで 3 点

what you were drawing on was your memory of what you *said* the waitress looked like まで 5 点

not your memory of what you *saw* she looked like まで 5 点

(E) 10 点

You need to make a leap まで 2 点

beyond the automatic assumption まで 2 点

that doctors are always men まで 2 点

They aren't always, of course まで 4 点

問 4 5 点

【解答】

(a)	(b)	(c)	(d)
7	2	4	3
(e)	(f)	(g)	(h)
9	8	6	5

(1)は不要。

【配点予想】

大問計 40点(各5点)

【解答】

When the writer was a child, he was crazy about baseball. One day he was taken to a big league game to watch his hero Willie Mays. As he was leaving the park, he saw Willie Mays coming out of the players' locker rooms. Although he was very nervous, he managed to ask for his autograph. Unfortunately neither the writer nor anyone with him had a pencil. Willie Mays apologized but told him that without a pencil, he couldn't give him an autograph. The writer was so disappointed that he cried all the way home. From that day on, he never left home without a pencil. Since he was now carrying a pencil with him at all times, it inspired him to start using it. That's how he became a writer.

【配点予想】

大問計 25点

V

【解答】

The study of the brain has become quite popular. But it would be a mistake to think that

we are almost at the point where we can understand it completely.

After all, the brain is such a formidable subject and what we have learned so far is only the tip of the iceberg. Beneath the surface is hidden so much we still do not know. This becomes clear the minute we try to explain, for example, how the brain functions to create our mind.

【配点予想】

大問計 25点

脳の研究が大変盛んになったが、今にもすべてのことがわかってしまいそうに思うのは誤りである。…7点

やはり脳は大変な研究対象であり、これまでにわかったことは氷山の一角に過ぎない。…5点

水面の下には多くのわからないことが隠されている。…5点

このことは、例えば、脳がどう働いて我々の心を生み出すのかを説明しようとすればすぐにわかる。…8点

【解説】

総評

昨年に比べ難化し、問題の分量も増えた。

自然科学の文章。人間、その他の自然界の物質をその存在レベル（存在規模）に分けながら論じたもの。原子や分子といった小さなレベルも、天体などの大きなレベルもともに構造は単純であるのに対して、その中間レベルにあたる人間といった存在が最も複雑であるといった主旨。抽象的言い回しも多く、難解だった。

(A) 文構造は次のとおり。

the discovery ~ to generation … S

made … V

life ~ evolution … O

seem simple … C

at ~ level ... M

物主構文なので S の部分を「～によって」と意識しても可。

(B) our scale は、5 行前の human level の反復表現になっている点に着目。

問 4 天気予報は、いまだに、科学であるのと同じくらい「技」でもある。天気予報は気象学の一部で科学として位置付けられているが、同時に、科学では割り切れない部分が多いという意図。これ以降も同主旨の反復になっていることがヒントになる。

人間の視覚記憶に比べ、言葉による描写ははるかに正確さが劣るといった内容。文章全体は、標準レベルだが、設問の訳出部分は難解なレベルであった。

問 2

2 段落目 4 行目 What happened ~ 6 行目 left hemisphere までが、その相当箇所。これを verbal overshadowing (言葉が影をさすこと) の内容に合致するようまとめればよい。2 行目 Your brain ~ 4 行目 in pictures までは前提となる説明。あえて記述する必要はない。

下線部 (D)

the lineup は、警察で取り調べの際、目撃者に人物特定の目的で見せる容疑者たちの並ぶ列のこと。「容疑者たちの」はなくとも可。

標準レベル。交通事故にあい病院に搬送されてきた老夫婦がかつて養子に出した娘が、その病院でたまたま出会った看護師と同一人物であるということがわかる話。

(a) (g) (h) は最後が疑問符である点がヒント。

P11 4 行目 Nita reached ~ bitter mother. (Nita が Cynthia の手を握りしめた時、彼女はそれまで血のつながりのない、意地悪な母親からは受けたことのなかったような愛情を Nita に感じた。) P11 下から 4 行目 We ~ a reason. (我々が偶然出会うのにはみなわけがあるものよ。)

P12 2 行目 but for ~ herself (しかし、なぜか、今回は、シンシアが自分で Nita の所持品を確認しようという気持ちが生じた。) はみな後の展開を暗示させる伏線になっているという点にも注意。

新傾向の問題。幼少の頃、大ファンだった野球選手のサインを、筆記具が無かったばかりにもらえなかったという苦い思い出を持つ書き手がそれ以後、片時も筆記具を離さず持ち歩くようになり、それがきっかけで、もの書きになったといった内容が書かれていなければならない。130語程度にまとめ、最低80語以上は書きたい。

V

2001年度までの和文英訳問題が復活した。ただし、今年度のような長めの文章の英訳はめずらしく、新傾向と言えよう。

参考語彙は次のとおり

研究・・・the study

今にも～する・・・be almost at the point where S + V

大変な(研究対象)・・・formidable, intractable, arduous など

氷山の一角・・・the tip of the iceberg

働く・・・function, work